

市民参加条例の検証に向けた意見交換会 vol.3 意見まとめ

<開催概要>

日 時 平成28年9月25日（日） 10時～12時

場 所 茅ヶ崎市役所 本庁舎3階 会議室3

参加人数 14名

概 要 意見交換会3回目の今回は、冒頭で、市民参加条例の概要や施行状況、市民アンケートなどの説明に加え、1回目及び2回目の意見交換会にて話し合われた内容などについて情報共有した後、市民参加の発展に向け市が取り組みたい内容を発表し、それに基づく意見交換を行った。

【意思決定について】

- ・市の政策案を複数（3案）出すべき。
- ・しっかりした考え方や技術を職員がもつことが必要。
- ・多数派の意見ではない方向の政策に進める場合、十分な説明が必要。
- ・正しい有識者を選んで進めるべき。
- ・市民の意見を集めることができるグループをつくる。
- ・行政も失敗から学び、修正すべきときは、修正すべき。
- ・自治条基本条例検証の附属機関が必要。それに沿って参加条例も検証すべき
- ・検証方法について、機関・検証について日常的に検討する機関が必要。

【情報の発信の工夫】

- ・市民参加機会についての多様な媒体での情報発信。
- ・市民にどういう段階で意見を出すか、統一すべき。
- ・政策の初歩段階で情報共有がされていない。
- ・今政策や事業フローのどういう状況がどういうところにあるか情報があるべき。
- ・重要な問題に市民が関係できないようにしているように感じる。
- ・参加の姿勢を示すために、会議録などがあるべき。
- ・参加に対する行政の評価について示すべき。
- ・公民館などで学んでいく場が必要。
- ・事業による工夫。
- ・ロコミしたくなる情報、ネットワーク。
- ・広報ちがさきの改善する。
- ・公募市民の記事を大きくする。
- ・広報ちがさきの編集・会議に市民を入れる。
- ・地域（まちぢから発信）の情報と市の広報は分ける。

【職員意識の向上】

- ・課の実務を想定した研修の実施
- ・防波堤をつくらない職員像がある。
- ・プロとしての職員の役割り—PDCA サイクル—
- ・検証しても効果がないと意見がない
- ・参加に対する行政の評価が必要。
- ・参加の目的の認識をする。
- ・No Reply
- ・パブリックコメントをしても計画・条例の施行の期限が決まっている。
- ・ありき
- ・プロセスを見える化をする。
- ・パブリックコメントをやるだけである。
- ・計画は決まっている。
- ・市民自治の見解を明確にする。
- ・パブリックコメントの前に上層部の政策会議は通っている。
- ・考え方と条例案が大きく違う。
- ・そのプロセスが不明である。
- ・パブリックコメントは出したときに計画が決まっている。
- ・職員意識の向上する。
- ・市民参加手続に関する規定をまとめたマニュアルの策定
- ・なんでも計画等パブリックコメントにかける必要ない。
- ・市民にとって重要なものだけパブリックコメントする。
- ・そのパブリックコメントへの回答をしっかりと対応してほしい。
- ・パブリックコメントの前に意見交換会をして議題を明確にしてパブリックコメントするべき。
- ・現状のパブリックコメントは何の情報もなく、全体に対して意見を求めているだけ。

【諸規定の整備】

- ・審議会等の位置づけに関する検討
- ・審議会＝市民参加 市民から意見をきく→専門家・学校にきく。審議会の前に市民の意見をきく場の設置する。
- ・市民集会などの場で意見集約→審議会にはかるまちぢから協議会も市民参加手法。
- ・公募の市民委員の増加。目標値、%など。
- ・専門家と市民公募の割合を同等、又は市民を多く同じ団体から選任されているのをやめる。

- ・地域の中での検討会などの設置する。
- ・無作為抽出による市民参加手法の推進
- ・説明会と意見交換会の違いが不明である。
- ・偏ったアンケート内容＝アンケート内容に市民参加を！
- ・検討した場がひらかれていない。意見を言った。→意見を公表した。間の検討をした場、庁内の会議であれば、会議録・プロセスの公表が必要。

【参加環境の整備】

- ・地域特有テーマは、各地域での市民参加
- ・複合施設が欲しい。
- ・まちぢからの委員が市民参加の意識がない。
- ・民主的な運営。
- ・託児・手話・筆記通訳・開催日時等の考慮
- ・自治会の力が強い。
- ・自治会に加入していない人への配慮・場所・開催。

【条例や制度のPR】

- ・広報誌や情報紙等を活用した PR
- ・まちぢから等地域活動の主体となる方々に向けた PR
- ・多様な機会での条例の周知
- ・まちぢから協議会も含め PR する。
- ・パブリックコメントも市民参加者少ない。
- ・広報誌の特集版。
- ・市の努力あっても市民は興味がない。
- ・自分にどう影響があるか不明である。
- ・条例のネーミングに工夫である。
- ・わかりやすい説明をする。
- ・市民集会＝まちぢからで主催する。